



混合かじ付きフォア(運動機能障害・視覚障害PR3)敗者復活戦 レースを終えた(左から)立田寛之、八尾陽夏ら

決勝進出逃す



ボート

日本勢はいずれも決勝進出を逃し、7〜12位決定戦に回った。

女子シングルスカル(運動機能障害PR1)

の市川友美(湖猿)は敗者復活戦1組で12分41秒10の5着。混合かじ付きフォア(運動機能障害・視覚障害PR3)の日本(八尾、木村、西岡、有安)は敗者復活戦2組で7分52秒35の5着だった。

混合フォアは序盤競り合つ

混合かじ付きフォアの日本は、500㍍までは格上のRPCと競り合った。最年少17歳の木村は「序盤で他国と並んでこけて、気持ち良く終われるいい内容だった」と笑顔を見せた。

パワーで劣る日本は500㍍以降、向かい風の中で差を広げられ、4着のRPCと約30秒差をつ

けられた。競技パートナーで司令塔役のコックスを務める立田(戸田市在住)は「こぎの大きさと強さを意識し、もう少し上の順位にいけるように頑張りたい」と最終レースの目標を語った。

日本記録更新を

八尾陽夏(ふじみ野市出身)の話 予選は中盤にスピードの落ち込みがあったが、しっかり修正した。2000㍍を通して、いいレースができた。順位決定戦は最後のレースになる。日本記録更新を狙っていきたい。